学校番号	１００１

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ（現代文Ｂ－３）	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	精選現代文Ｂ　（東京書籍）						
副教材等	読解現代文必携　キーワードの卵　（尚文出版） 新演習　現代文アチーブ２　四訂版　（桐原書店） 新総合　図説国語（東京書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して自ら考え、周りと意見を交わし、読解を深める活動を行います。
・話し合いや文章記述、発表など、社会人として必要な力を身につけることを心がけましょう。
・問題集の問題をまずは自分で解く習慣を身につけましょう。答えを覚えるだけでなく、解法を身につけ、どのような文章であっても対応できる力を身につけることが大切です。
・文中に出てくる語句の読み書き、語彙なども自ら学び、調べることで定着させていきましょう。

２　学習の到達目標

・近代以降の様々な文章を的確に理解し、自身の考えを適切に表現することができる。
・文章を読んで書き手の意図や人物、風景、心情などを的確にとらえ、表現を味わうことができる。
・様々な文章に触れることで、社会・文化・科学・文学などへの理解の幅を広げ、知識を深めることができる。
・身につけた知識をもとに、自身のものの見方・考え方を広げ、深めることができる。また、それらを適切な表現を用いて表すことができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く	c:書く能力	d:読む能力	e: 知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。作品の文学史的位置づけ、作者に関わる知識を理解し、身に付けている。

評価方法	・行動の観察 ・記述の点検 （ノート、ワークシート等）	・行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価、相互評価シートの点検）	・記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	・記述の確認及び分析 （ワークシート） ・定期考査	・行動の観察 ・記述の確認 （ノート、ワークシート等） ・小テスト ・定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
後期 10月	評論	・評論の読み方に習熟する。 ・長文の評論を読み、二項対立を基本とした論構成を理解する。 教材： 「『である』ことと『する』こと」	○			○	○	a：本文中の重要語や慣用句の意味を国語辞典などを用いて調べている。表題から想像する内容を手がかりに、本文の内容に興味・関心を持っている。 d：対比的な論述に注意して、本文の構成と内容を的確に捉えている。「『である』こと」と「『する』こと」の概念をそれぞれ理解している。「である」論理から「する」論理への推移のしかたと、その問題点を理解している。 e：「民主主義」「自由」「近代化」など、本文のテーマに関わる重要語の意味を正しく理解している。 ・日本の近代化について論じた評論を読むなどして、考察を深めている。	a：行動の観察と確認 d、e：記述の点検と確認

11月	小説	・小説の読み方に習熟する。 ・擬古文を用いた近代小説を読み味わうことにより、小説の多様な表現形式に触れる。 ・作品の背景にある時代と文化の状況について理解を深める。 教材: 「舞姫」	○	○			○	a: 登場人物を自分に置き換えて、その心理を分析しようとしている。 b: 明治という時代についての知識を発表し合い、作品の背景をまとめている。 作品の主題について考察し、意見を述べている。 e: 作品の時代背景について、基本的な知識を持っている。	a、b :行動の観察と確認 e:記述の点検と確認
12月・1月	評論	・評論の読み方に習熟する。 ・筆者の述べる考察を論理的に理解し、物事の捉え方の幅を広げる。 教材: 「サッカーにおける『資本主義の精神』」 「抗争する人間」	○		○	○	○	a:本文中の重要語や慣用句の意味を国語辞典などを用いて調べている。 時事的な問題に関心を持ち、自らの課題として受けとめ、読解への意欲を高めている。 c:筆者の意見を要約し、主張に対する自らの考察を表現する。 d:文章の構成を把握し、筆者のとらえ方を理解する。 e:全文を正しく音読する。	a:行動の観察と確認 c:発表の観察とレポートの確認 e:記述の点検と確認

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く
c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。